

# 沿海地方の物流発展のポテンシャル

(株)極東海運研究所 (FEMRI) 海運振興部長 ミハイル・ホロシャ

次の要因に注目して、輸送戦略を改善する必要性について論じたい。

●第1の要因。ロシア連邦の交通システムは発展途上であり、港の貨物取扱量と海運ルートは増えつつある。また、輸送管理も改善されつつある。が、これは、既成の構造やプロジェクトの規模の範囲にとどまっている。

●第2の要因。今日、ロシア国内の地経学的発展に重大な抑制要因がある。それは、極東も含め、交通システムの不十分な発展に由来する。

その結果、新しい長期的な「2030年までのロシア連邦輸送戦略」は、新しい課題と目標を持っている。それらを以下に挙げる。

1. 持続的インフラ整備に基づき、国内に統合輸送圏域を形成する。
2. 運輸サービスの品質、使いやすさ、規模、および競争力を確保し、経済発展におけるイノベーションの需要を満たす。
3. 社会の基準に則した住民のための運輸サービスの品質と使いやすさを確保する。
4. グローバルな輸送圏域に組み込まれ、ロシア連邦の中継輸送のポテンシャルを実現する。
5. 輸送システムの安全水準を向上させる。

運輸分野における上記の目標は、経済にイノベーションを起こし、最終製品コストに占める輸送コストの割合を下げることでGDP成長を後押しすることを目的としている。

今日、運輸における競争プロセスと同位にあるのが、活発な協力と輸送システムの統合である。

効率のよい国内輸送と北東アジアの物流システムの存在は、域内の輸送を統合化するための基盤を形成している。我々は、UNESCAPの地図上において、日本、中国、韓国、モンゴル、ロシア極東南部、そして北朝鮮の輸送圏域が接する地域（英文Figure 1参照）を示した。前述の国々の協力が、北東アジアの統合化された物流インフラにおいて相互に作用しあう要素を必要とするような、一つの輸送圏域の形成をもたらすことは明らかだ。

北東アジアの交通システムへの沿海地方の統合は、輸送の全領域、および国際輸送に係わるすべての輸送形態（輸出、輸入、中継）において行われるべきだ。ロシアの輸送インフラの整備は、我々のパートナーの要求と能力に一致

して、実施されなければならない。

現在、沿海地方の運輸部門は、原料貨物輸出が優勢な状況のなかで発展している。ところが、交通システムへの統合は、輸出のポテンシャルのみの開発にとどまらない。

この問題について解決すべき課題がたくさんある。主要な問題は、物流を含むサービスのための輸送ポテンシャルを開発することだ。

## 物流

運輸サービスの需要を高める方法を模索するにあたり、この問題を取り上げた。その結果、次に上げる問題を解決するうえでの、沿海地方（特に、ポストーチヌイ港とその周辺地域）のポテンシャルが明らかになった。

●最終製品の倉庫保管、およびアジア太平洋諸国における国際レベルの貿易サービスシステムの提供。

●アジア太平洋諸国からの物流ルートのロシア東部地域への変更、および沿海地方における卸売業の確立。

●沿海地方の貨物中継のポテンシャルを国のために具現化すること。

しかし、ここに述べた問題について、沿海地方にはポテンシャルがあるが、我々はこれまでそれを具現化することができなかった。

今日、状況は様変わりしている。沿海地方への投資は増えているし、政府は振興策に着手し、ロシアの大手企業が沿海地方に進出しようと目論んでいる。

前述の目標は、新たに制定された連邦法「経済特区について」を使うことによって、新しい「2030年までのロシア連邦輸送戦略」に沿って達成される。

貨物中継の発展と沿海地方南部を経由する物流にとって潜在力の高い輸送ルートに次に示す。（英文Figure 3参照）陸路：

●沿海地方南部の港からシベリア横断鉄道経由で極東の他地域、シベリア、中央ロシア（またその逆）へ向けた伝統的な陸路ルート。

●朝鮮半島南北縦断鉄道からシベリア横断鉄道を経由する潜在的な陸路ルート。

●陸路の国際輸送回廊（ITC）である「プリモーリエ1」と「プリモーリエ2」、および新しい国際ルートの開発が可能（トゥリー・ログ経由など）。

●その他の域内の陸路輸送ルート。

海路：

- 北米および南米、日本、中国、韓国、北朝鮮、ベトナム、タイ、アジア太平洋南部の島しょ諸国、オーストラリアとその他オセアニア諸国などへの伝統的な海路ルートは、「シベリア横断鉄道」経由の陸運の延長線として非常に有望なルートでありうる。
- 北極海航路経由の海運、および理論上可能な貨物積替えを含むその他の有望ルート。

### 主要港の拠点および陸路インフラ

次に挙げる拠点は、沿海地方南部の域内物流システムの開発においてもっとも期待されるものである。(英文 Figure 4 参照)

ハサン港湾の輸送拠点 (KTN)。KTNはITC「プリモーリエ2」に接続し、シベリア横断鉄道と朝鮮半島南北縦断鉄道の連絡点として有望な立地である。

ここは、異なる交通機関の交差点で、北朝鮮と中国との国境に近い。大きなポテンシャルを有する港として、トロイツァ港がある。

確かに、この港は、吉林省、「琿春辺境経済合作区」、延辺朝鮮族自治州、ハサン地区の港に近いその他の都市および工業地帯に向けた北東アジアの貨物の一部を取り扱うためのポテンシャルを有している。

貨物中継機能の強化、および設備の近代化、この地域での国際協力、さらに輸送分野の専門人員の養成などの実験地として、トロイツァ湾に港を形成することが、基本的な考え方である。

この拠点、特にトロイツァ港における整備作業については現在、検討中である。

事前のシナリオに従うと、トロイツァ湾の荷役施設には次のようなターミナルが含まれることになる。

- コンテナターミナル、最大取扱能力一年間150万TEU
- 穀物ターミナル、最大取扱能力一年間500万トン
- 石炭ターミナル、最大取扱能力一年間1,000万トン
- 自動車ターミナル、取扱能力一年間50万台
- 旅客ターミナル、最大取扱能力一年間35万人
- 鋼板コイル積替えターミナル、最大取扱能力一年間100万トン
- 木材ターミナル、最大取扱能力一年間35万立方メートル

ウラジオストク港湾輸送拠点 (VTN) は、シベリア横断鉄道に直結し、ITC「プリモーリエ1」にも接続する。これは国境から遠くない上、沿海地方で最大の人口の住む中心部にある。VTNの主な欠点は、ウラジオストク市の中心部に立地している点だ。

心部に立地している点だ。

この様な理由で、我々はVTNのコンテナターミナルだけを検討しているわけではない。

港の開発プロジェクトでは、その設備の近代化と市内交通機関の迂回、ドライカーゴターミナルプロジェクトの実施、市外での物流・流通ターミナルの整備が提案されている。

ウラジオストク商業港の改修後、現存のバースの貨物取扱能力は50万TEUになると見られている。さらに、FESCOグループが専用のコンテナターミナル(取扱能力25万TEU)を建設する計画だ。

今後のVTN整備事業は立案と検討の段階にある。その一例が、ノーヴィ地区の内陸貨物ターミナルプロジェクト「南沿海ターミナル」(取扱能力は年間約2,000万トン)だ。

ポストチヌイ・ナホトカ港湾輸送拠点 (VNTN) も、シベリア横断鉄道に直結し、ITC「プリモーリエ1」に接続している。

この港湾輸送拠点は、前述の有望輸送ルートと類似している。VNTNの主な長所は、そのロケーション(市の外に立地)と、拡張するだけの空き地があることだ。この主要港はポストチヌイ港、ナホトカ港、新しいコジミノ石油港である。

主な理念は、拠点の港(ポストチヌイ、ナホトカ、コジミノ)の総合的整備である。

#### ●輸出ポテンシャルの向上

●貨物中継ポテンシャルの向上、および卸売取引と物流の取り扱いを目的とした、ポストチヌイ港における港湾特区の創設

#### ●ITC「プリモーリエ1」の整備

VNTN拠点(極東のメインポート)の総合的整備は、ロシア連邦運輸省が2002~2010年および2010~2015年に向けた連邦特別プログラム「ロシアの輸送システムの近代化」の枠内で計画した。

「2020年までのポストチヌイ~ナホトカ輸送拠点およびITC『プリモーリエ1』の整備の統合計画」が、このプロジェクトと並んで策定されることになっている。輸送拠点および輸送回廊の整備に関するコンセプトを定義するための、マーケットリサーチなどの数多くの調査を実施することが必要である。港湾および物流ターミナル、鉄道輸送、陸運など輸送インフラのプロジェクトの策定が控えている。

沿海地方南部の交通システムの今後の発展は、将来の貨物量に依存している。貨物取扱量が少ないと、環境保護や

環境安全、開発に付随的なサービス、社会問題などの幅広い問題を考慮した、調和のとれた発展を確保することができない。

コンテナ輸送市場に関するこれまでの予測を踏まえれば、次のような貨物取扱能力が2020年までに必要となるであろう。

VNTV：最大で年間600万TEU

VTN：最大で年間200～250万TEU

KTN：最大で年間400～450万TEU

港湾・国境通過点・鉄道・道路の整備を総合的に計画立案するにあたり、沿海地方南部のコンテナ取扱能力は、それに対する昨今の需要を考慮して、年間約1,000万TEUあれば十分だということを、経済の進化は示している。

もちろんこれは、貨物取扱高についての予測でしかない。それについての結果は、今後明らかになるだろう。しかし、グローバルな経済危機下にある中、我々は、有効な不況対策として地方の輸送圏域の整備を考えるよう提案する。

【翻訳：ERINA】